

令和5年 9月 26日

受 講 報 告 書

栗山町議会議長

鶴 川 和 彦 様

栗山町議会議員 端 師 孝



このたび、下記のとおり受講いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和5年 8月 24日
- 2 目 的 オンラインによる研修
- 3 研修内容 「持続可能な地域公共交通の構築に向けて」
～市町村の役割に注目して～
- 4 関係書類 別紙のとおり





地方議員・地方公務員向け サマースクール 受講者募集

1日コース
オンライン

2日コース
対面

この夏、全道の同志と議論・
交流してみませんか？

開催期間

2023年8月24日(木)～8月25日(金)

8月24日(木) 14:00～17:00 / 8月25日(金) 10:00～16:00

※1日コースはオンライン受講のみです。2日コースは対面式での実施を予定しています。

※新型コロナウイルス感染症や講演者の都合等により、プログラム内容の一部が変更となる場合があります。
また、全面オンラインでの開催となる場合があります。

テーマ

持続可能な地域公共交通の構築に向けて一市町村の役割に注目して

8月24日(木) 【1日コース/2日コース】

「北海道における交通政策」

北海道総合政策部交通政策局職員【調整中】

住民サービスとしての公共交通—持続可能な公共交通の構築に向けて—

石狩市企画経済部企画課交通担当課長 上窪 健一 氏

「地域公共交通に関するデータ分析の手法と住民・事業者との連携」

日本データーサービス株式会社取締役設計画調査部長 東本 靖史 氏

8月25日(金) 【2日コースのみ】

講演「持続可能な地域公共交通の構築における市町村の役割」

北海道大学大学院工学研究院教授 岸 邦宏 氏

グループディスカッション「持続可能な地域公共交通を構築する上で市町村が果たす役割について」

申込締切

【2日コース】7月3日(月)

【1日コース】7月18日(火)

受講料

【2日コース】6,000円

【1日コース】3,000円

【主催】北海道大学公共政策大学院

【共催】特定非営利活動法人CAN

【後援】北海道市長会・北海道町村会・北海道市議会議長会・北海道町村議会議長会

【協力】北海道

お問い合わせ

サマースクール事務局:特定非営利活動法人CAN(担当:佐藤)
電話:080-1882-0800 メール:summer-2023@npocan.jp

2023年度HOPS地方議員・地方公務員向けサマースクール日程

8月24日(木) 【1日コース/2日コース】

時刻	内容
13:30	開場
14:00~14:10	◆ 開講 開講あいさつ 北海道大学公共政策大学院院長 空井 護
14:10~15:00	◆ 〈講演〉 「北海道における交通政策」 北海道総合政策部交通政策局職員 [調整中]
15:10~16:00	◆ 「住民サービスとしての公共交通—持続可能な公共交通の構築に向けて」 石狩市企画経済部企画課交通担当課長 上窪 健一 氏
16:10~17:00	◆ 「地域公共交通に関するデータ分析の手法と住民・事業者との連携」 日本データーサービス株式会社取締役設計画調査部長 東本 靖史 氏
※講演後に、2日コース受講者を対象に懇親会を開催する予定です。	

8月25日(金) 【2日コースのみ】

時刻	内容
9:30	開場
10:00~11:00	◆ 講演「持続可能な地域公共交通の構築における市町村の役割」 北海道大学大学院工学研究院教授 岸 邦宏 氏
11:10~12:00	◆ グループディスカッション1：事前課題の発表とディスカッション
11:00~12:00	昼食
13:00~14:30	◆ グループディスカッション2：持続可能な地域公共交通を構築する上で市町村が果たす役割について
14:40~15:40	◆ グループディスカッション報告・講評
15:40~16:00	◆ 閉講 閉講あいさつ 北海道大学公共政策大学院院長 空井 護 写真撮影

日 時	令和 5 年 8 月 24 日 14 : 00 ~ 17 : 00
視 察 先	オンラインによる研修 於：自宅 会場：北海道大学百年記念会館大会議室
調査事項	「持続可能な地域公共交通の構築に向けて一市町村の役割に注目して」 1 日コース
対 応 者	下記記載
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. 北海道における交通政策の実情把握、実分析データの活用し、町 民目線による持続可能な地域交通の構築における必要な知識獲 得のため 2. タイムスケジュール/講義テーマ/講師 14 : 10-15 : 00 「北海道における交通政策」 (北海道総合政策部交通政策局職員) 15 : 10-16 : 00 「住民サービスとしての公共交通—持続可能な公共交通の構築に向けて」 (石狩市企画経済部企画課交通担当課長 上窪 健一 氏) 16 : 10-17 : 00 「地域公共交通に関するデータ分析の手法と住民・事業者との連携」 (日本データーサービス株式会社取締役計画調査部長 東本 靖史 氏) ① 既存の地域交通は、年を重ねるごとに複雑な様々な要因によ り利便性の低下しつつある。当町も本年 10 月より夕鉄バス路線 廃止に伴い、夕張より継立・角田地区に住む今までこの路線を利用 してきた住民の移動手段がなくなる。持続可能な地域交通の構 築が求められている。 ② 北海道内の町村が抱える課題は、当町と共通の課題 3. ・他町村の事例を参考に、本町の現状に置き換えたとき、どのよ うなアプローチができるか。

4.

北海道内の多くの市町村では急速な人口減少が進んでおり、地域によっては利用者の減少により従来のバス路線が維持できないなどの状況が見られます。しかし、地域の公共交通サービスは、特に車を運転しない高齢者や子どもにとって、買い物、通院、通学など、地域で生活する上で必要不可欠なものです。

現在、道内では、既存の公共交通を最大限活用する取組とともに、予約型のデマンド交通、オンデマンド交通、情報通信技術を用いたサービスなど、地域公共交通に関する多様な取組が進行中です。住民に向き合いながら、様々な関係者と連携して持続可能な地域公共交通を構築する上で、市町村が果たす役割は大きいものと考えられます。

感想：

今までは単に、「交通便が悪いから改善する」といっても、それらは様々な要因が絡み合い、私がどう取り組んでいけばよいのか漠然としていました。それには私の知らなかった必要な見方やデータがあることに気づかされました。

問題解決には、データ分析やデータ活用、様々な手法から最適なものをを用いる必要があり、さらに住民・事業者との連携は持続可能な交通構築に必要不可欠だと知りました。

この研修会を受講したことにより、受講する前は現状や課題に対し漠然ととらえて取り組もうとしていたがそれでは全くとらえきれていなかった。受講した後は、町民目線や様々な方面の見かたをし、データの活用や分析など必要なことがわかり、今後の問題解決に対する糸口を知れたことは大変良かったと感じています。

さらに知りえた情報を整理していき、今後、チームや同僚議員と取り組む際には、この知り得た情報の共有しつつ、地域交通の構築に対する取り組みや議員活動に活かしていきます。